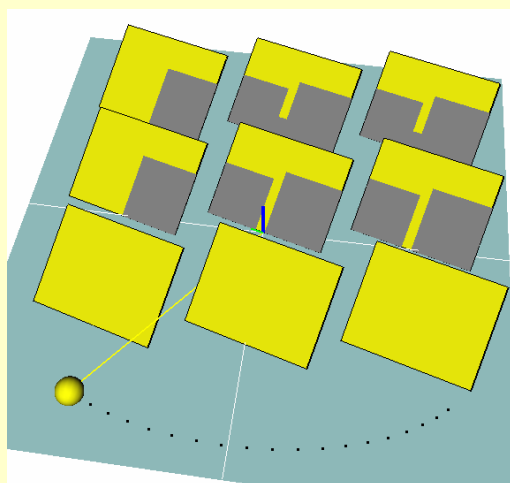
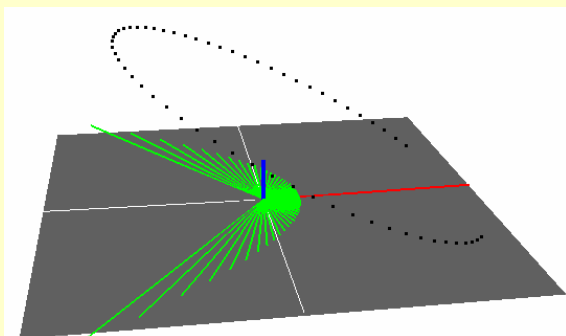


## 再生可能エネルギーの運用計画に関する研究

### =研究概要=

2030年までに太陽光発電の設備容量を最大53GWまで増やす国策は、東日本大震災以後の原子力発電に対する信頼の失墜によりさらに拍車がかかり、早急な普及が求められるようになってきた。しかし、条件に良い広平坦地を求めることは難しく、今後普及に伴って新、悪条件下での太陽光パネルの設置や、わずかでも効率の高いパネルの設置技術が求められるようになってきた。本研究では、太陽光パネルに当たる日射やパネルの影、季節による太陽高度の違いなどを詳細なシミュレーションで分析し、効率の高い運用制御に資するものである。



### =研究担当(伊庭 健二)紹介=

専門分野：電力システム  
省エネルギー  
環境エネルギー  
蓄電システム

研究設備：NAS電池  
(1000kW: 商用使用中)

